



**待望のオープン
道の駅おおゆ**

4月28日、本市二つ目となる道の駅「道の駅おおゆ」がオープンしました。当日は、大型連休の初日に当たり、大勢の来場者で賑わいました。来場者は、芝生の上でくつろいだり、足湯に浸かったり、買い物や軽食などで大いに満喫していました。

屋外ステージでは、竣工式が行われ、関係者によるテープカットに合わせ、多くの来場者がたくさんさんの風船を飛ばして祝福しました。



大日堂舞楽「五大尊舞」

十二音会「悠紀地方風俗歌舞」

**雅楽との共演
大日堂舞楽伝承
千三百年記念公演**

5月13日に文化の文化交流館コモッセで大日堂舞楽伝承千三百年記念の特別公演が行われました。

はじめに、宮内庁などの楽師による楽団「十二音会」が、「悠紀地方風俗歌舞」などを華やかな衣装で舞いました。

次に、「大日堂舞楽」が保存会によって披露され、1月2日の本番さながらに7つの舞を披露しました。

この共演は、全国でも類を見ない貴重な機会です。およそ650人が会場に詰め掛けました。来場者は、ゆったりと舞う雅楽の動きと迫力ある大日堂舞楽に大きな拍手を送っていました。



大日堂舞楽「鳥舞」

**笑顔あふれる
かづの子どもフェア**

5月5日のこどもの日に、花輪商店街で「かづの子どもフェア」が行われ、多くの子どもたちで賑わいました。

このイベントは、子どもたちに楽しんでもらうと花輪商店街で毎年開催しており、花輪小学校のバトントワラー部によるパレードや稚児行列を皮切りに、流しうめんや多くの露店のほか、大型のトランポリンなどが商店街に並びました。

この日の商店街は、友達や家族と楽しむ子どもたちの姿で溢れました。



**迅速な救助を目指して
消防救助署内選考会**

5月16日に鹿角広域消防署で、県の救助技術大会に向けた予選会が行われました。

消防署員は、高さ約10メートルの場所に張られたロープを渡ったり、動けなくなった要救助者を引き上げたり、実際の救助現場を想定した競技に真剣な表情で臨みました。

また、保育園の園児ら30人ほどが見学に来訪し、競技を行う消防署員を見て「かっこいい」「すごい」などと感嘆していました。



**地域に元気を
尾去沢山神社祭典**

5月14日から15日にかけて尾去沢山神社祭典が行われ、多くの観客が詰め掛けました。

山神社祭典は、尾去沢の鉾山にまつわる尾去沢山神社の祭典で、閉山後も地域の活力を保つため、地元有志により地域の一大イベントとして続けられています。

幕開けとして、14日に市指定無形民俗文化財「からめ節金山踊り」が奉納されました。

また、15日には尾去沢の保育園児から大人までおよそ300人が一堂に会し、かなままソーランを演舞しました。会場に訪れた観客からは、たくさん拍手が送られました。



**誰でもできる健康運動
シルバリーハビリ体操教室**

5月17日に八幡平市民センターで、シルバリーハビリ体操教室が行われ、約30人が参加しました。

この体操は、道具を使わず「誰でも、いつでも、どこでもできる」運動で、高齢者にとっては、日常生活の動作訓練として有効で、市が進める介護予防の取り組みになっています。

理学療法士の大田 健太郎氏が講師を務め、ユーモア溢れるトークとともに、参加者は笑顔で体操を楽しみました。

